

算数科学習指導案(略案)

平成23年 6月 9日(木)第6校時

4年1組(教室) 指導者 石田 俊彦

1 単元名 わり算のしかたを考えよう

2 本時の学習(全17時間分の学習の後に、深める学習として特設)

(1) ねらい

問題作りを通して、わり算の学習の理解を深めたり、考える力を高めたりすることができる。

(2) 準備

教師：学習プリント、学習プリントの拡大、「新しい問題」掲示用プリント、教科書
マジックペン

児童：教科書、ノート

(3) 展開

学 習 活 動 (児童のつばやき、動き など)	時間	学習活動への支援及び留意点 (人権教育にかかわる配慮事項には ~~~)	観点評価項目(方法) おおむね 十分 努力を要する児童への手だて
1 大課題「問題作りをしながら、わり算の学習をまとめたり、さらに深めたりしよう!」及び課題1「原問題を解いてみよう!」を知る。	5	学習プリントやその拡大掲示物を活用し、時間の節約をする。 本時の学習は、今までのまとめをしたり、さらに深めたりするために行うことを確認する。 原問題とは、もとの問題であることを知らせる。	
2 原問題(もとの問題)を解き、問題のしくみをとらえる。 自力解決 全体でまとめる。	5	原問題は、今までに解いたことのある平易な問題を取り上げる。 【原問題】 72まいの色紙を、3人で同じ数ずつ分けます。 1人分は何まいになりますか? 今までの学習を振り返りながら、立式をさせたり、答えを導かせたりする。 言葉の式を考えさせることで、問題の構造を確認させる。 (全部の色紙の数) ÷ (人数) = (1人分の色紙の数)	
3 課題2「原問題をもとにして、新しい問題を作ってみよう!」を知る。 問題作りのやり方を確認する。 問題作りを行う。	20	このような形での問題作りは初めてなので、作り方のヒントを少し与える。ただし、児童の数学的な考え方を高めるねらいもあるので、ヒントを与えすぎないように配慮をする。 机間指導をしながら、 <u>真剣に考えている児童に対して賞賛の言葉</u>	考 原問題の数値や色紙という言葉を変える程度の簡易な問題を作ることができている。 原問題をもとにして、多様(2種類以上の)問題を作るこ

		<p>をかけたり、つまづいている児童には励ましやアドバイスの言葉をかけたりする。</p> <p>机間指導をしながら、数名の問題を選び、掲示用プリントに転写させ、掲示する。その際に、何種類かの問題が掲示できるようにする。</p> <p>(予想される問題の種類例)</p> <p>A...等分除の問題(1人分の数<1あたりの量>を求める問題)</p> <p>B...包含除の問題(人数<いくつ分>を求める問題)</p> <p>C...かけ算の問題(<全体の量>を求める問題)</p> <p>D...かけ算とわり算が複合した問題</p> <p>など</p>	<p>とができている。 (プリントへの書き込み)</p> <p>原問題の言葉や数値を変えるだけでも新しい問題が作れることなどを示唆する。</p>
4 課題3「みんなが作った問題を分類(仲間分け)しよう!」に取り組む。	10	<p>児童の発言を大切にしながら、分類をしていく。</p> <p>分類をしながら、問題の構造を確認するとともに、わり算やかけ算の理解を深めさせたり、考える力を高めさせたりする。</p>	
5 (時間があつたら)友達が作った問題を1、2問解く。	(5)	<p>時間がない時には、無理をして、問題を解く学習はしないようにする。</p>	
6 本時の学習のまとめと次時の学習内容等について知る。 「次回は、友達が作った問題を解いてみましょう!」	5	<p>次時の学習につながるような投げかけをする。</p> <p>次時まで、児童の作成した問題を印刷し、問題集としてまとめておく。</p> <p>授業で扱えなかった問題については、宿題等で行わせるようにし、児童の学習意欲の継続化を図る。</p>	